

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー : 社会学 I ILAS Seminar : Sociology I	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, Haruka Shibata		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b>	1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	5 (5)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Tue.4
<b>Classroom</b>	3B, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. North Wing			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	幸せ / 生き方 / 親密性 (友人関係・恋愛・結婚・家族)				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

#### [Overview and purpose of the course]

「幸せ」「生き方」「親密性」といった担当教員の研究テーマを参考にしながら、受講者各人が、現代のさまざまな社会現象や、自分自身の人生・生活上の問題について、自らの関心に即して、社会学などの先行研究（関心に最も近い査読論文1本以上）を参照・批判しつつ、独自の発想を加えた考察を行い、発表をする。  
さらに、その発表内容について、出席者全体で発展的議論を行い、互いの考察を深め合う。  
またその際、担当教員は、社会学の思考法を活かした発言をすることで、社会学の思考法を参与的かつ実践的に伝授する。

#### [Course objectives]

社会学の思考法を用いて、現代のさまざまな社会現象や自分自身の人生・生活の背景にある「しくみ」（社会構造とコミュニケーションの相互作用）を、初歩的な水準で分析・説明・議論できるようになる。

#### [Course schedule and contents]

基本的に以下の計画に従って授業を進める。ただし、受講者の状況などに応じて、内容を変更する可能性がある。

- 第1回 ガイダンス（発表の仕方、先行研究の検索方法）、受講者各人の発表日程の決定。
- 第2～4回 担当教員が見本発表を行う。そのあと、出席者全体で発展的議論を行う。さらに空いた時間で、先行研究の選び方の相談会を行う。
- 第5回～第12回 毎回1名が発表する。発表では、「社会現象や人生・生活についての問い」、「その問いに最も近い先行研究（査読論文1本以上）の整理と未解決点」、「その未解決点に関するできるだけ客観的な独自考察」、「問いへの暫定的な答え」、「考察の限界と今後の課題」を、レジュメに沿って口頭発表する。そのあと、出席者全体で発展的議論を行う。
- 第13回 予備日
- 第14回 まとめの討論
- 第15回 フィードバック（詳細は授業中に説明）

Continue to ILASセミナー : 社会学 I (2)

ILASセミナー : 社会学 I (2)

**[Course requirements]**

None

**[Evaluation methods and policy]**

平常点 ( 発表内容50点 + 討論参加50点 = 100点満点 ) によって評価する。

**[Textbooks]**

Not used

**[References, etc.]**

( References, etc. )

Introduced during class

( Related URL )

<https://sites.google.com/site/harukashibata/profile>(教員紹介のページ)

**[Study outside of class (preparation and review)]**

予習は、今後の自分の発表のための準備を入念に行うこと。

復習は、毎回の授業内容をふりかえり、関連情報を調べること。不明点については、口頭かメールで教員に質問すること。

毎回の予習・復習の時間配分は、予習120分 ( 平均 )、復習120分を目安とする。

**[Other information (office hours, etc.)]**

履修人数を発表スケジュールに適した人数に制限する。

また、「感染による履修上の配慮」が必要となった場合には、急遽、Zoomを用いたハイブリッド形式に切り替え、対面参加者もZoom上で発言をしてもらう可能性があるため、Zoomにアクセスできる端末 ( ノートPC等 ) とイヤホン ( できればイヤホンマイク ) を毎回持参すること。